

平成 29 年度外郭団体 点検評価の結果

1 目的

全ての外郭団体が経営の健全性等について、自ら点検評価を実施し、改善に取り組むとともに、評価の結果を公表している。

点検評価結果については、外部有識者からなる行財政改革推進委員会による外部評価を実施し、団体の運営に係る透明性や評価の客観性の確保を図っている。

2 対象団体

外郭団体 27 団体

※県出資 25%未満の公益財団法人等 (24 団体) も外郭団体に準じた点検評価を実施

3 点検項目 (27 団体)

区分	内容
(1) 団体のマネジメント	・ 団体の使命や役割、経営目標の達成状況等
(2) 財務状況等	・ 団体の資産や収支の状況
(3) 点検評価 (団体記載)	・ 団体の必要性や経営の健全性、事業の有効性の検証 ・ 赤字の改善に向けた取組の実施状況と評価 (H29 追加)
(4) 効果的事業の実施に向けた取組	・ 県民視点による事業やサービスの質の向上に向けた取組 ・ 効果的事業実施に向けた取組

4 点検結果

(1) 団体のマネジメント

- ・ 団体の使命や役割を踏まえた経営目標 (成果指標、活動指標、健全性指標、効率性指標) を設定
- ・ 各団体は指標の達成状況を踏まえ、課題に対する改善に取り組む

<経営目標の評価、改善の方向性> ※ 3 項目以上未達成の団体 (全体は資料 1-2 参照)

団体名	経営目標	評価	改善の方向性	
(公財) 静岡県 舞台芸術セ ンター	鑑賞者数	H28 実績 : 35,316 人 H31 目標 : 49,600 人	経費削減のため 公演数を削減し た結果、鑑賞者数 が減少	1 公演あたりの 鑑賞者数増加を 図るため営業専 任スタッフを配置
	中高生鑑賞事 業鑑賞者数	H28 実績 : 35,316 人 H31 目標 : 49,600 人		
	鑑賞者 1 人 あたりコスト	H28 実績 : 7,181 円 H31 目標 : 5,120 円		
(一財) 静岡県 労働福祉事 業協会	おおとり荘 宿泊者数	H28 実績 : 14,691 人 H29 目標 : 20,000 人	施設リニューアル、サービ ス改善に取り組ん だが利用者が減 少	外部人材の活用 等による「おほと り荘」運営の抜本 的改革
	経常損益	H28 実績 : ▲102,651 千円 H29 目標 : 0 千円		
	職員 1 人 あたり収益	H28 実績 : 6,591 千円 H29 目標 : 9,457 千円		
(公社) 静岡県 農業振興公 社	農地買入 実績	H28 実績 : 1.3 ha H29 目標 : 11.3 ha	農産物価格の低 迷による売買支 援事業の実績低 下	市町・農協を通じ た農地情報収集、 事業 P R の強化
	経常損益	H28 実績 : ▲2,011 千円 H29 目標 : 614 千円		
	農地中間管理 単位コスト	H28 実績 : 前年+42 千円/ha H29 目標 : 対前年比減		

(2) 財務状況等

- ・常勤役職員は昨年度から9人増加（増加：8団体、減少：6団体）
（主な増減：富士山静岡空港(株) +7、(公財)浜松地域イノベーション推進機構+4）
- ・経常損益が赤字である団体は14団体。このうち、公益認定基準の要請から赤字となっている団体が3団体、特別な事情で赤字となっている団体が6団体
- ・合理的な理由がない5団体については、短期的には運営上の支障はないと分析しているが、着実に改善が図られるよう引き続き検証を実施

(単位：人、団体数)

項目	H28	H29	差
常勤役員数（うち県派遣）	30(2)	30(2)	±0(±0)
常勤職員数（うち県派遣）	432(36)	441(37)	+9(+1)
経常損益が赤字の団体（※）	16	14	▲2
公益認定基準の要請によるもの	8	3	▲5
特別な事情による一時的なもの	3	6	+3
合理的な理由がないもの	5	5	±0

※「経常損益が赤字の団体」については、それぞれ前年度の決算を示す

(3) ①点検評価（団体記載）

- ・基準未達成となった項目は、14項目中3項目（昨年度と同数）
- ・天竜浜名湖鉄道(株)は、資本金の減額により累積損失を解消し剰余金を確保（H28）

基準未達成項目	未達成団体数			
	H28		H29	
		団体名		団体名
経常損益が赤字である※	5	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県土地開発公社 ・(公財)静岡県障害者スポーツ協会 ・(公財)静岡県生活衛生営業指導センター ・(一財)静岡県労働福祉事業協会 ・天竜浜名湖鉄道(株) 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・(公財)静岡県障害者スポーツ協会 ・(公財)静岡県生活衛生営業指導センター ・(一財)静岡県労働福祉事業協会 ・(公財)静岡県農業振興公社 ・天竜浜名湖鉄道(株)
必要十分な剰余金が確保されていない	2	<ul style="list-style-type: none"> ・天竜浜名湖鉄道(株) ・(公財)静岡県障害者スポーツ協会 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・(公財)静岡県障害者スポーツ協会
施設利用率が目標を下回っている	2	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県住宅供給公社 ・(一財)静岡県労働福祉事業協会 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県住宅供給公社 ・(一財)静岡県労働福祉事業協会

※ 経常損益が赤字である14団体のうち、団体が「合理的な理由（公益認定基準の要請、特別な事情等）がある」としている9団体を除く

(3) ②赤字の改善に向けた取組の実施状況と評価

- ・28年度の行財政改革推進委員会の意見を踏まえ、2年続けて赤字の団体について、赤字の改善に向けた取組の実施状況と評価を記載することとした。
- ・一定の改善が図られたが、赤字の解消には至らず、継続的な改善が必要

<合理的な理由無く赤字となった団体の改善の実施状況> ※全体は資料1-4参照

団体名	経常損益(千円) 上段：H27 下段：H28	赤字改善の実施状況 (H28 実績)	H28 赤字の要因 ⇒今後の対応
(公財)静岡県 障害者スポーツ協会	▲741 ↓ ▲3,871	・事務局長の給料等引き下げ ・会員募集により会費収入が増加 (1,827千円→2,315千円)	業務量増加に伴う人件費の増加(常勤職員1人増) ⇒経費節減及び会費増収
(公財)静岡県 生活衛生営業指導センター	▲1,501 ↓ ▲1,371	・標準営業約款の登録数確保のため フリーペーパーによる広告等を実施 ・空き室の賃貸化(29年7月から)	減価償却費の負担が困難 ⇒関係団体と連携して標準営業約款の登録数確保
(一財)静岡県 労働福祉事業協会	▲18,565 ↓ ▲102,638	サービス改善や広報・営業活動の強化 ・リニューアルキャンペーンの実施 ほか (宿泊客数:14,983人→14,691人)	有価証券の評価損、宿泊客数の減少⇒職員の資質向上等によるサービス改善
(公社)静岡県 農業振興公社	▲1,364 ↓ ▲2,012	農地中間管理事業の推進 (総貸付面積:454.7ha→860.2ha) ※下半期増加分は29年度収益に反映	運用益及び事業利益の減少 ⇒市町等からの情報収集等による農地貸借拡大
天竜浜名湖 鉄道(株)	▲138,448 ↓ ▲156,994	メディア活用等により年間利用者数が増加(1,523千人→1,549千人)	老朽化による維持修繕費 ⇒メディア活用等による旅客収入拡大

(4) 効果的事業の実施に向けた取組

- ・利用者等の意見把握に取り組む団体が段階的に増加
- ・28年度の行財政改革推進委員会の意見を受け、結果の公表に取り組む団体が増加

区 分	H26	H27	H28	H29	H26→29
外郭団体数	27	28	27	27	± 0
意見把握に取り組む団体 (うち、結果を公表)	23 (10)	26 (14)	25 (19)	25 (23)	+ 2 (+13)
利用者アンケート (うち、結果を公表)	17 (4)	20 (7)	19 (12)	20 (17)	+ 3 (+13)
外部評価委員会 (うち、結果を公表)	9 (7)	9 (8)	12 (9)	11※ (11)	+ 2 (+ 4)
意見交換会 (うち、結果を公表)	8 (2)	13 (4)	14 (8)	13※ (9)	+ 5 (+ 7)

※(公社)静岡県緑化推進協会の統合(H29年3月)による減